公益財団法人 名古屋産業科学研究所

第49回産業科学フォーラム

日　時 ： 2025年12月19日（金）14時～15時20分

場　所 ： 名古屋大学VBL棟3階ベンチャーホールおよびオンライン方式で開催

参加費 ： 無料

趣　旨 ：原子力エネルギー利用とその行き詰まりについて説明するとともに、解決すべき課題である高レベル放射性廃棄物問題、燃料リサイクル実現問題などを解説し、燃料再処理やウラン濃縮のような、一見、関係が薄そうな技術分野の重要性を紹介する。

講演プログラム

挨拶　（14:00～14:05）　主催者

講演　（14:05～15:15）　榎田洋一 上席研究員（名古屋大学名誉教授、（公財）原子力安全研究協会 研究参与）http://www.nisri.jp/dor/researchers/enokida.html

講演タイトルおよび要旨

「原子力エネルギー利用のゆくえ」

「原子力エネルギー利用のゆくえ」と題する講演では、21世紀の初めの四半世紀の間に、これまでになく高まっている原子力エネルギー利用の背景について、20世紀から21世紀への歴史的経緯に従って、ソフトエネルギー・パスの提唱や原子力エネルギー利用とこれら行き詰まりについて、エネルギー利用の集中化、環境調和性、経済性の観点から説明するとともに、半世紀にわたって従事してきた原子力や新技術開発研究と技術の社会実装の経験から解決すべき課題である高レベル放射性廃棄物問題、燃料リサイクル実現問題、経済性の問題について、可能な問題解決戦略についての提案を解説する．特に、原子力エネルギー利用の経済性については、規模の経済からの脱却と学習効果発現、日本における人口減少下での原子力技術伝承との関係を説明し、燃料再処理やウラン濃縮のような、一見、関係が薄そうな技術分野の重要性について、現行技術内容の解説とともに言及する。

キーワード：

原子力エネルギー利用，高まる期待の背景，放射性廃棄物とリサイクルの問題，経済性問題と解決の技術戦略

開催場所は VBL 棟です。一般の方の聴講を歓迎いたします。参加を希望される方は下記のメールアドレスにご連絡ください。また URL から WEB 申込みができます。（WEB 案内の申込みボタンからでもできます）

https://www.nisri.jp/formmail_dor.html?id=7

WEB 申込みの場合は、「お問い合わせ内容」に「会場参加希望又はオンライン参加希望」と記入してください。また「必須項目」の記入もお願いします。

オンライン方式で聴講希望の方には後日研究部から招待 URL などをお送りします。

ハイブリッドの開催となりますが、できるだけ会場にお越しいただき講師や参加者と交流・意見交換などしていただけると幸いです。

お問合わせ先/（公財）名古屋産業科学研究所・研究部

E-mail: dor☆nisri.jp（☆を@に替えてください）